

県立太田第一高等学校附属中学校【総合的な学習の時間計画】(令和8年度)

学校の教育目標

<p>グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を育む学校</p> <p>(1) 7年目を迎えた中高一貫教育校の特長を活かし、中高連携の強化と6年間を見通した教育課程に基づく深い学びの実現に努める。</p> <p>(2) 探究を軸とした学びの素地を身に付け、身の回りの事象を自分事として捉え、主体的に課題を解決する能力の向上に努める。 (探究を軸とした学びの推進)</p> <p>(3) 予測困難な社会に目を向け、他者と協働しながら、主体的に諸課題を解決することができる資質・能力を育成する。 (シティズンシップ教育の充実)</p> <p>(4) 多角的な相互理解の機会を提供し、自己理解を深めるとともに、多様な価値観を受容するためのグローバルな視点で、思考・判断・表現できる資質・能力を育成する。 (ダイバーシティ教育の推進)</p> <p>(5) 教職員の協働体制を構築し、業務の効率化と平準化を図る。</p>

総合的な学習の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>地域課題についての継続的な探究活動をとおして、実社会や実生活において生きて働く資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断するとともによりよく問題を解決する資質や能力を育成する。</p> <p>(2) 多様な学び方やものの考え方を身に付ける。</p> <p>(3) 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。</p> <p>(4) 自己の生き方や考えることができるようにする。</p>	<p>(1) 学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付け探究的な学習のよさを理解している。 (知識・技能)</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立てて情報を集め、整理してまとめて発表している。 (思考・判断・表現)</p> <p>(3) 実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的に課題の解決に取り組む、学習したことを自己の生き方に生かし、積極的に次の課題に取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>(1) 生徒の興味・関心を重視し、課題に向かう意欲が持続できるよう働きかけをする。</p> <p>(2) ICT機器の効果的な活用により、生徒の特性に応じた調べ方やまとめ方を示す。</p> <p>(3) 共通または類似する課題の生徒と協働で学習を進められるよう支援する。</p> <p>(4) 個別面談などの個人指導を実践する。</p>

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	自分や地域を知る 常陸太田市の持続可能な魅力について	イングリッシュスタディ 常陸太田市の文化・産業等 未来の自分発見講座	【個別の知識や技能】 自ら課題を発見し、自ら学び考え、適切に問題を解決できる。 【思考力・判断力・表現力等】
2年	日本を知る 自分の住む地域の職業の課題や自分の職業観について考える	国内語学研修 企業連携等 未来の自分発見講座	情報収集の仕方、調べ方、まとめ方及び報告や発表・討論の仕方などの学び方やものの考え方を身に付け、課題解決に向けて主体的・創造的に取り組む。 【学びに向かう力・人間性等】
3年	世界を知る 異文化理解とその課題について、解決策を提案しよう	海外体験留学 企業連携等 未来の自分発見講座	自己を見つめ、現在や将来について真剣に考え、主体的に進路を選択し、生きがいのある生活を実現していくという自己の生き方について考えることができる。